

京都市の上下水道事業について

京都市上下水道局
マスコットキャラクター
ホタルのひかりちゃん



京都市上下水道局
マスコットキャラクター
ホタルの澄都(すみと)くん



京都市上下水道局

平成25年9月10日

H25.9.10

1

(1) 事業の概要について

水道・下水道の歴史

○日本で最初の近代水道・下水道

水 道：明治20年10月，横浜で給水を開始

下水道：明治17年，東京で神田下水建設工事を開始
(大正11年3月，三河島污水処分場の運転開始)



京都市では

水 道：明治45年4月，蹴上浄水場から給水を開始

下水道：昭和5年，下水道第1期工事に着手
(昭和9年4月，吉祥院処理場の運転開始)

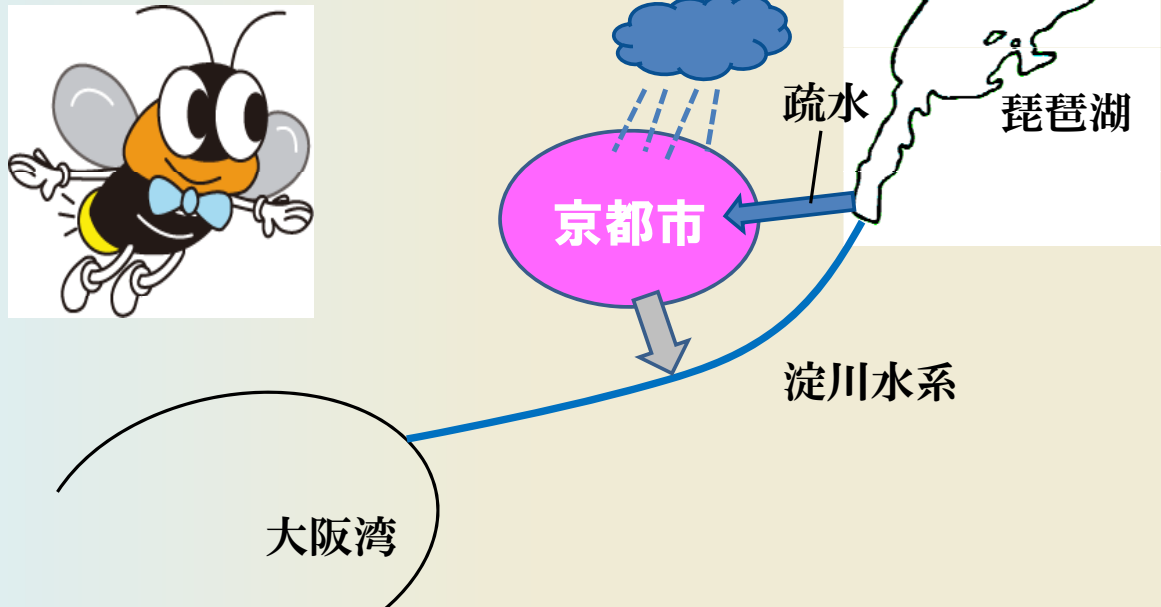
⇒水道…101年，下水道…83年の歴史を有する!!

H25.9.10

2

(1) 事業の概要について

京都市の位置



H25.9.10

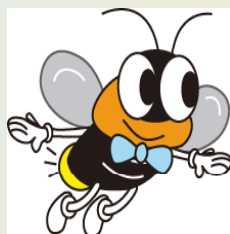
3

(1) 事業の概要について

地方公営企業法

○ **法律の適用(第2条)**

- ・ 水道事業：**当然適用**
- ・ 公共下水道事業：**条例適用**



【地方公営企業】
地方公共団体が住民
の福祉の増進を目的
として経営する企業

特別会計
企業会計方式
料金原価主義

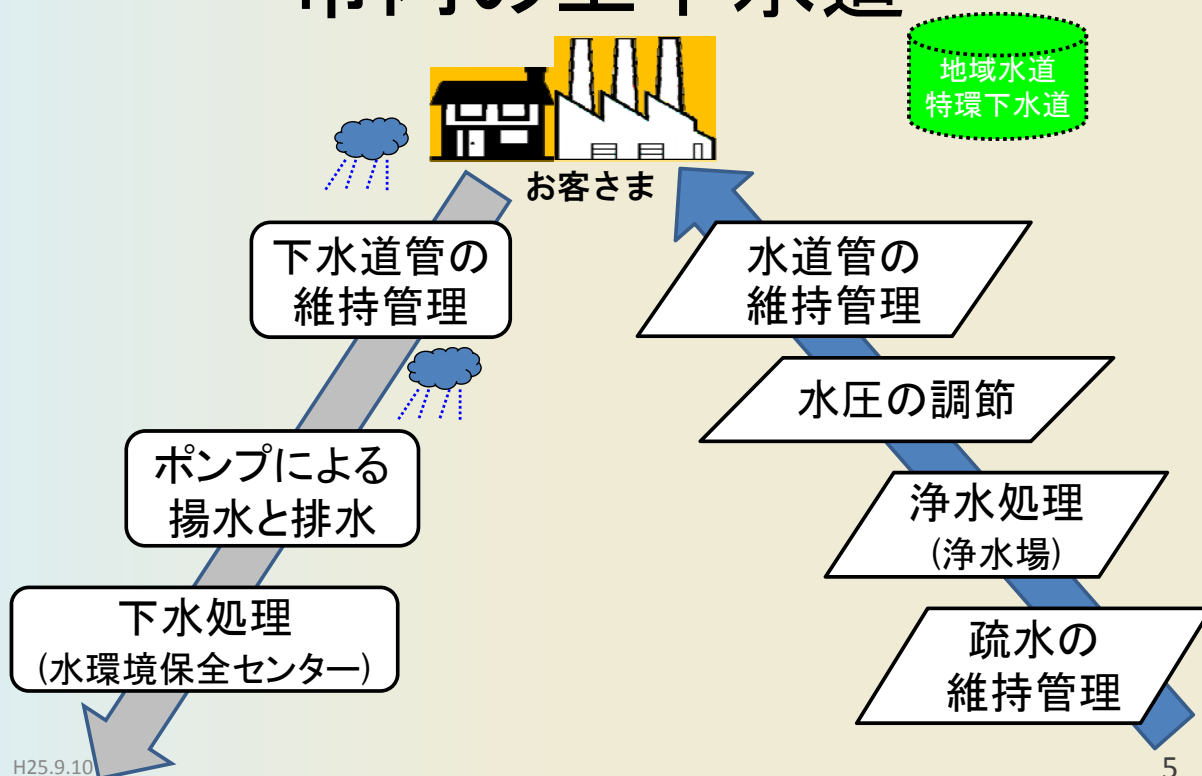
○ **経営の基本原則(第3条)**

- ・ 財務会計 ⇒ **独立採算原則**
- ・ 経営組織 ⇒ **管理者制度**

H25.9.10

4

市内の上下水道



水道・下水道の役割

水道・下水道は都市の基盤施設であり、日常生活を支える重要なライフラインである。

<水道事業>

安全・安心でおいしい水道水を安定的にお届けする。

飲料水をはじめ風呂・トイレ・炊事・洗たくなど文化的・衛生的な暮らしを支える。

<下水道事業>

衛生的で快適な暮らしを支え、大雨による浸水からまちを守る。

市内河川・流域全体の水環境を保全する。

事業の現況

収入額(水道料金など, 下水道使用料+雨水処理負担金など:税込み額)

⇒ 水道事業: 約295億円, 下水道事業: 約461億円

(施設整備への投資額は, 水道事業: 約117億円,
下水道事業: 約174億円)



取扱量(給水量, 流入下水量)

⇒ 水道事業: 約2億 m^3 ,
下水道事業: 約3億5千万 m^3

お客さま数

⇒ 水道事業: 約75万件,
下水道事業: 約74万件

職員数

⇒ 水道事業: 約730人,
下水道事業: 約550人

地域水道
特環下水道

H25.9.10

7

上下水道事業の経営課題

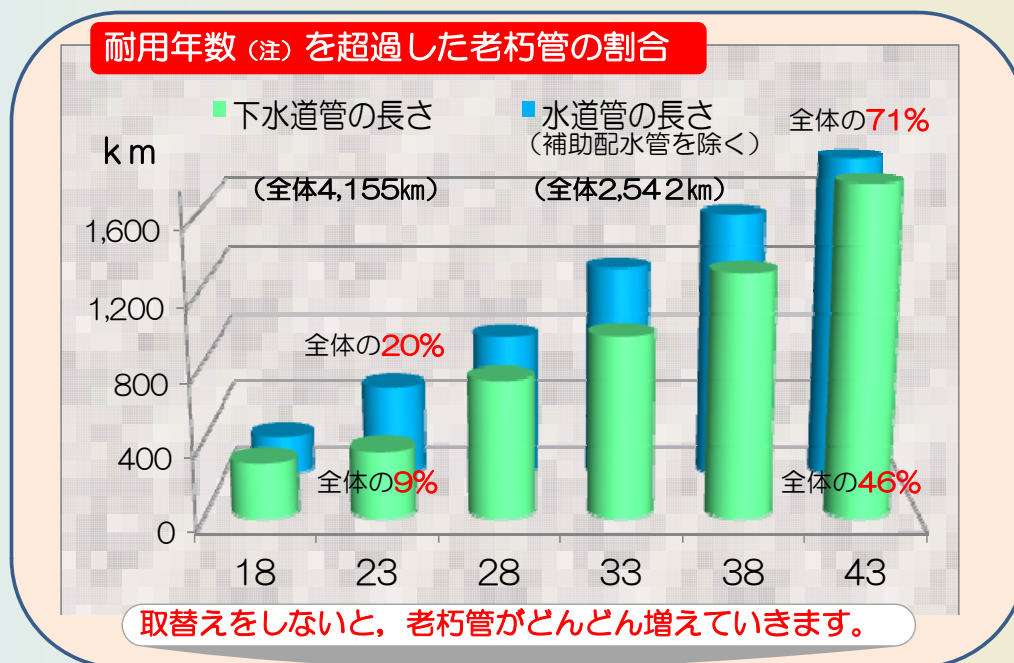
施設の老朽化・・・漏水事故の発生

災害等への備え・・・地震対策, 浸水対策

水需要の減少・・・水需要構造の変化
(節水型社会, 世帯人数
の減少)

(2) 経営課題について

施設の老朽化



(注) 資産管理上の標準的な耐用年数 水道管:40年 下水道管:50年

H25.9.10

9

2 経営課題について

施設の老朽化

老朽化した水道管

老朽化した下水道管



H25.9.10

10

(2) 経営課題について

災害等への備え

水道管の耐震化



雨水幹線の整備

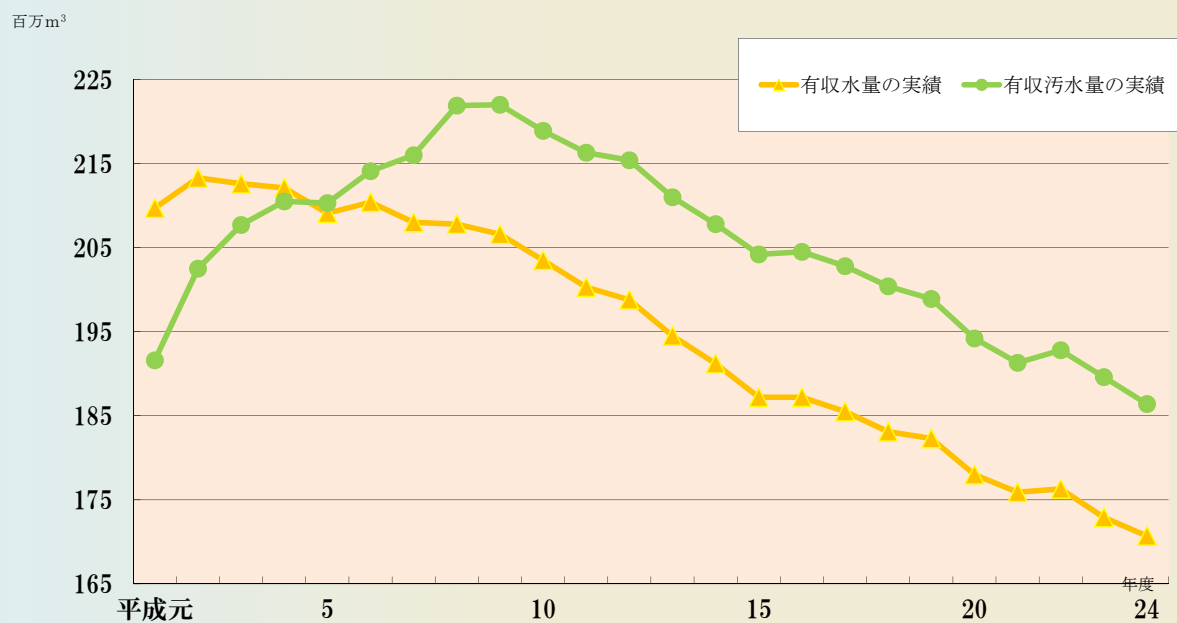


H25.9.10

11

(2) 経営課題について

水需要の減少



H25.9.10

12

(2) 経営課題について

経営課題への対応

- 施設の老朽化などへの対応には多額の経費が必要



- 上下水道事業の経営は独立採算制



- 事業推進・経営の効率化・財政基盤強化に向けた 経営プランの策定
- 将来に負担を先送りしない料金制度の構築

H25.9.10

13

(3) 経営計画について

京(みやこ)の水ビジョン

京都市上下水道経営戦略

みやこ

京の水ビジョン (2008-2017)

蛇口から当たり前のように流れる水、そして排水口に流れていく水。何気ないけれど何よりも大切なこのライフラインを50年後、100年後の未来に繋いでいくべく、上下水道局は全力で果敢に挑戦しています。

基本理念

くらしのなかにはいつも水があります。
私たち京都市上下水道局は、
先人から受け継いだ、水道、下水道を守り、育むことにより、
皆さまのくらしに安らぎと潤いをお届けしたいと考えています。
そして、ひとまちくらしを支える京の水をあすへつなぎます。



施策目標 I

毎日安心して使うことができ、災害にも強い水道・下水道を目指します

施策目標 II

環境への負荷の少ない水道・下水道を目指します



5つの施策目標

上下水道局の社会的な役割や使命を果たし、中長期的な視点から様々な課題に対応し、サービス向上を図ります。

施策目標 V

経営基盤を強化し、将来にわたり安定した経営を行います

施策目標 IV

皆さまのご要望におこたえし、信頼される事業を展開します

施策目標 III

将来にわたって使い続けられるよう水道・下水道の機能維持・向上に努めます



H25.9.10

14

中期経営プラン

【中期経営プラン】



中期経営プランの5つの重点項目

- 項目① 改築更新の推進
- 項目② 災害対策の強化
- 項目③ 環境対策の充実
- 項目④ お客さま満足度の向上
- 項目⑤ 経営基盤の強化

(3) 経営計画について

項目① 改築更新の推進



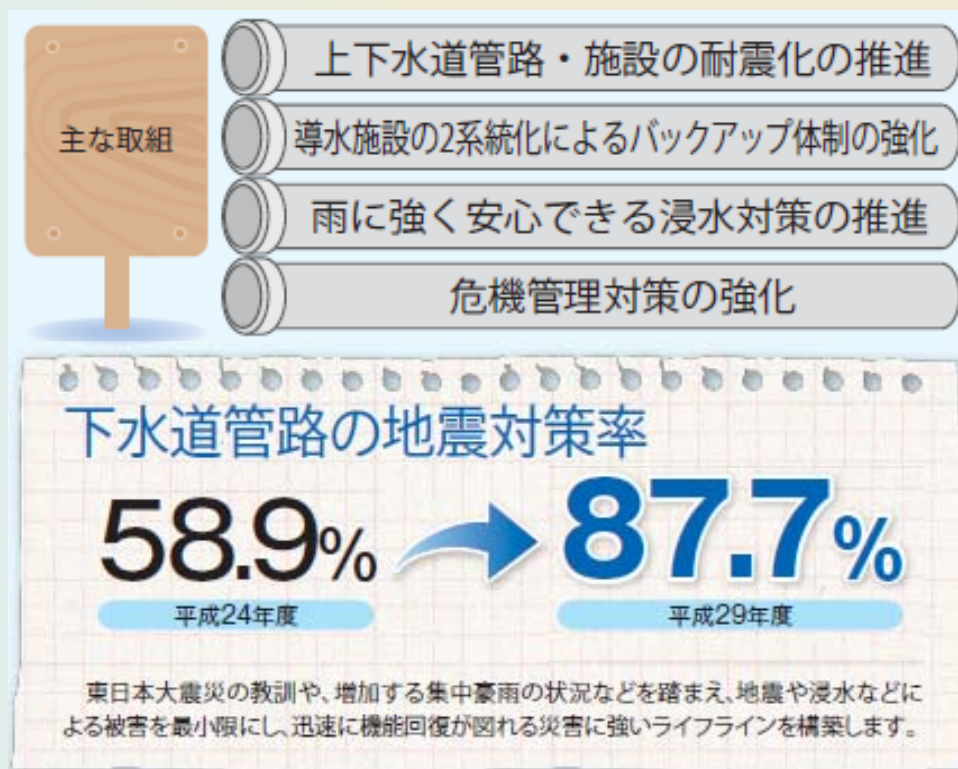
※平成20～24年度の5箇年の平均値

H25.9.10

17

(3) 経営計画について

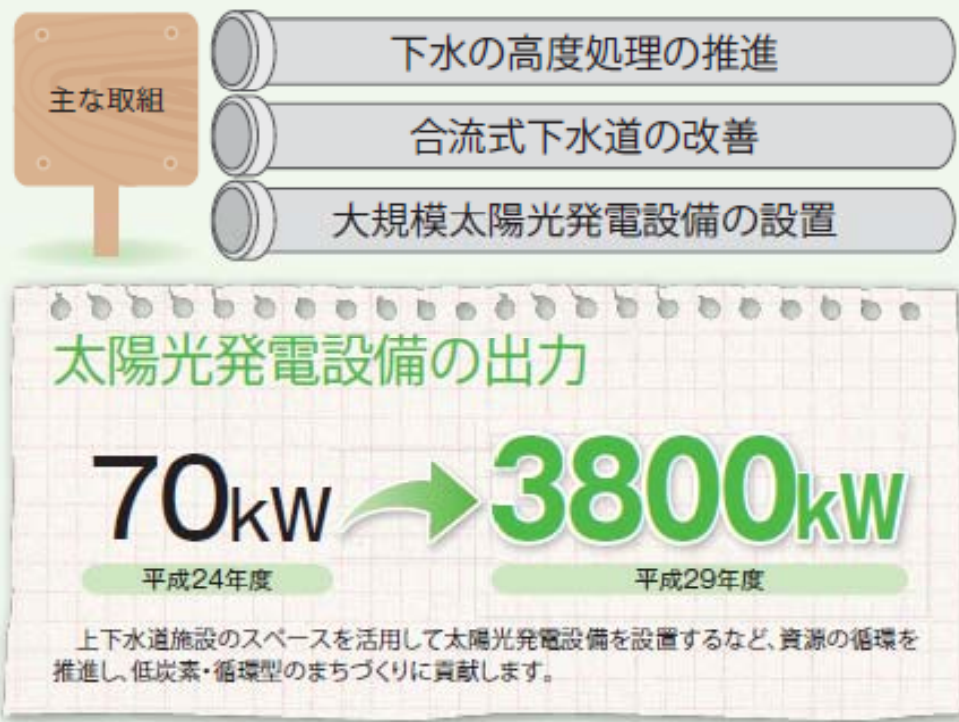
項目② 災害対策の強化



H25.9.10

18

項目③ 環境対策の充実



項目④ お客さま満足度の向上



(3) 経営計画について

項目⑤ 経営基盤の強化

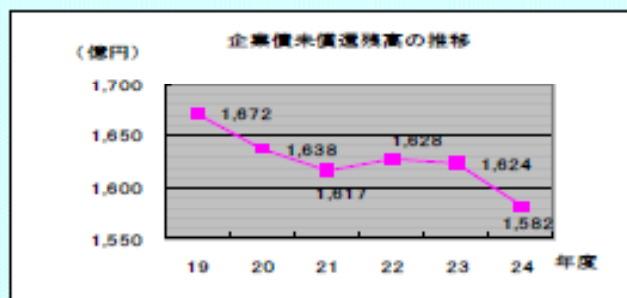
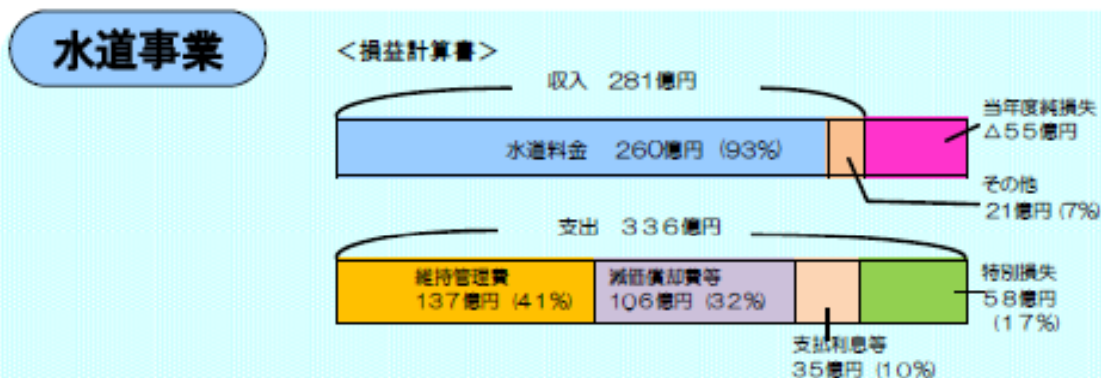


H25.9.10

21

(4) 経営状況について

24年度 決算の概要



水道料金収入は、前年度と比べ1.7パーセント(△4億5900万円)減少しました。一方、支出において各種経費の削減に努めましたが、山ノ内浄水場廃止に伴う除却費等の特別損失により、6年ぶりの赤字決算(△55億円)となり、29年ぶりに繰越欠損金(△2億1百万円)が生じました。企業債の残高は、前年度と比べ2.6パーセント減少しました。

H25.9.10

22